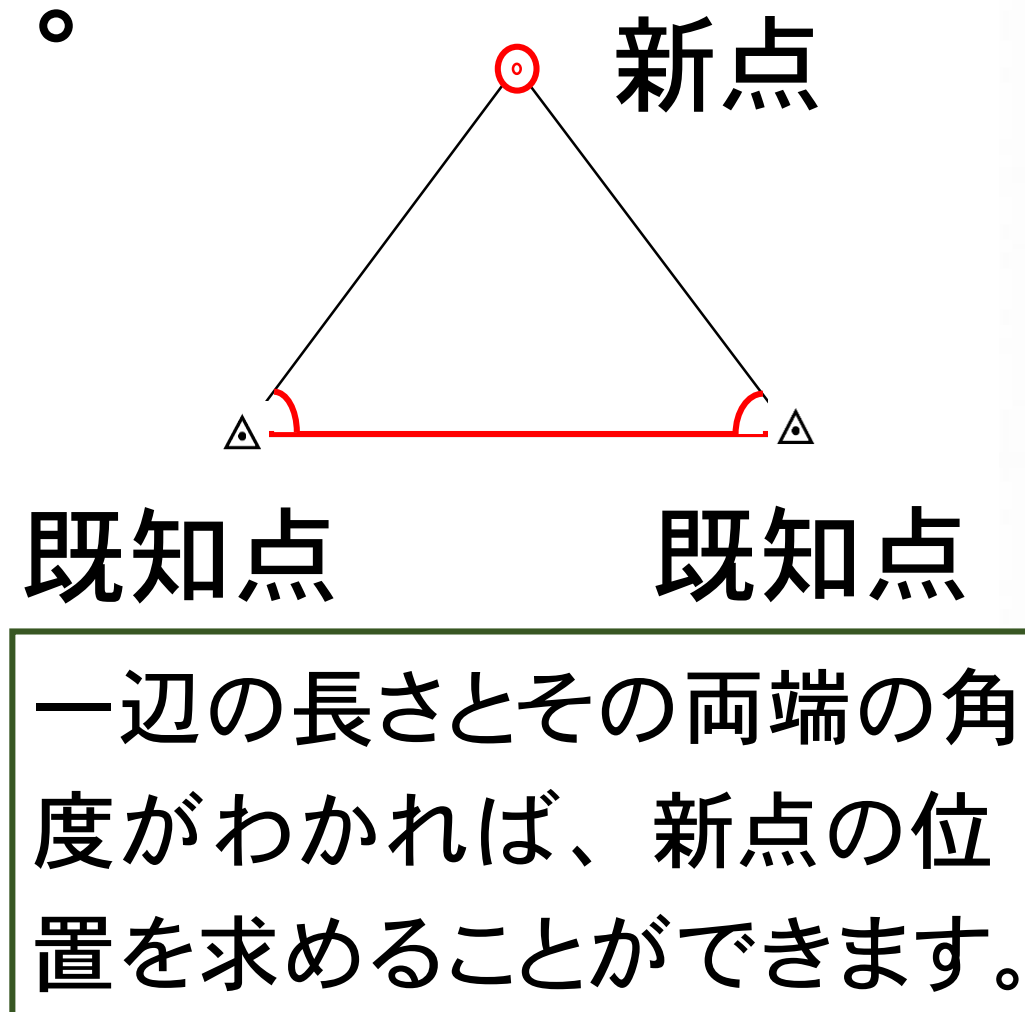
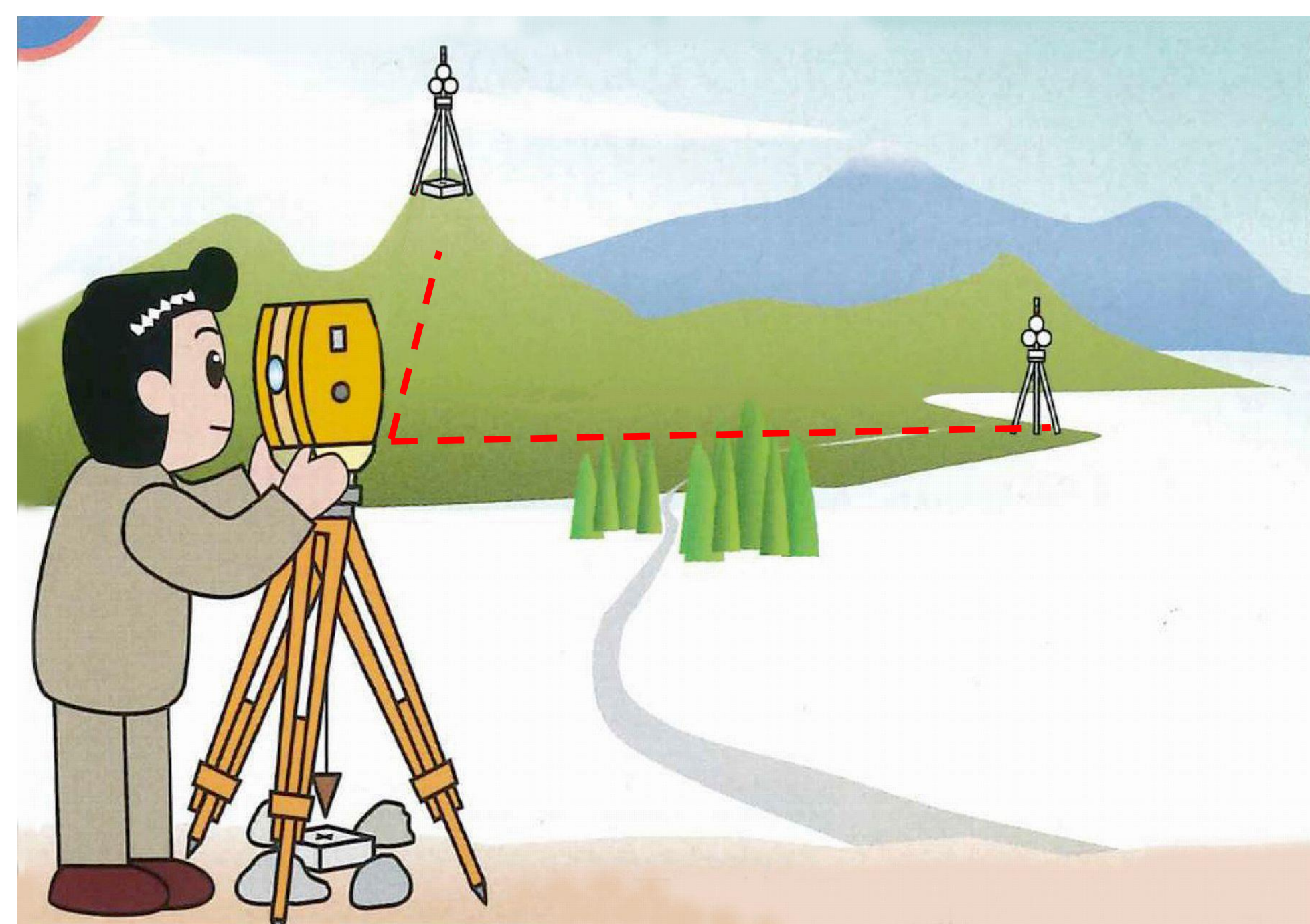


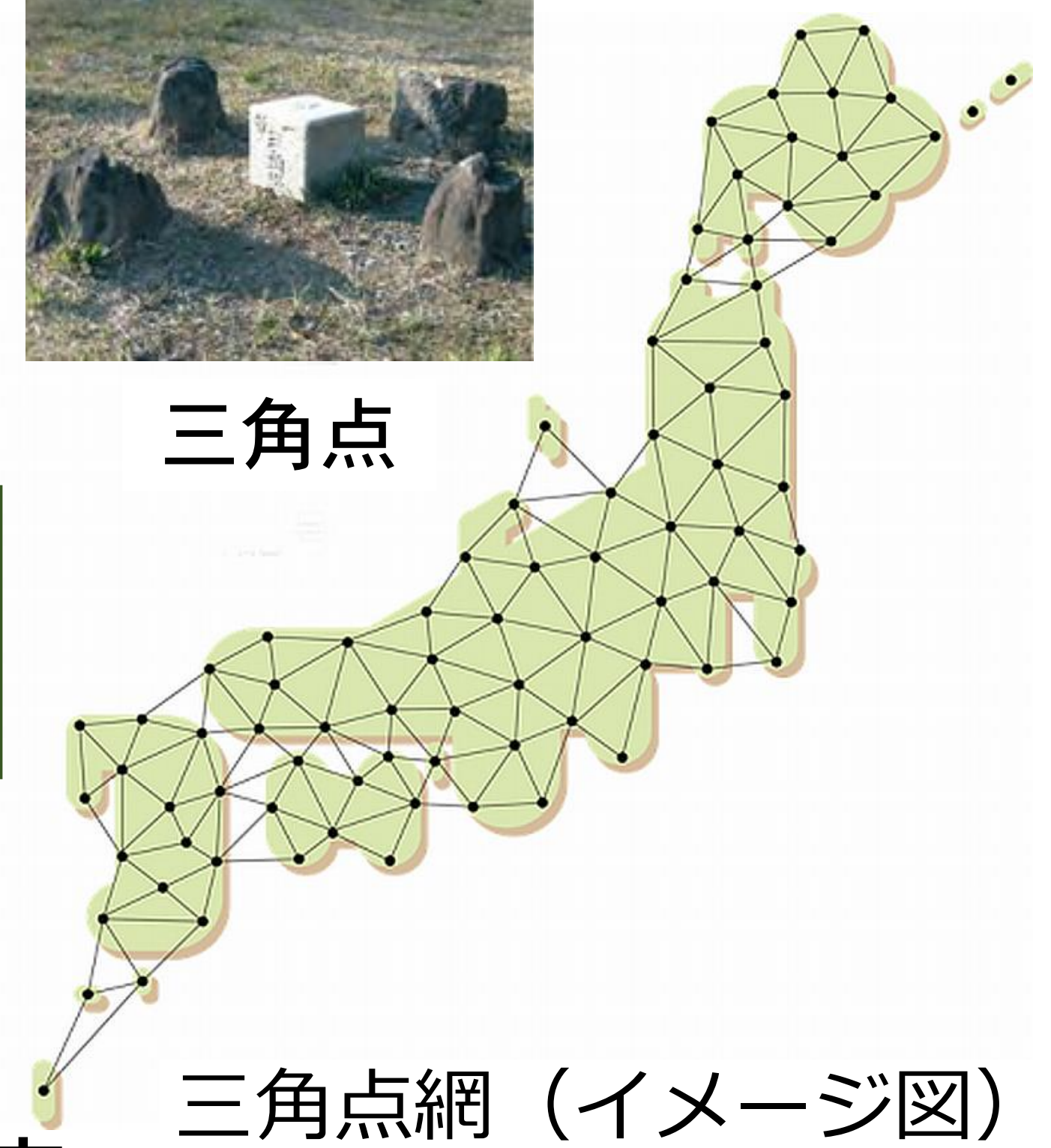
三角測量からGNSS測量へ

三角測量

明治から行われてきた三角測量は、距離と角度を計測し、三角形の図形の性質を利用して位置を求める測量です。



三角点



三角点網 (イメージ図)

既知点と新点の間に測量機器を置いて距離・角度を測定

→ 移動や設置に時間がかかります。観測点同士の視通（見通せること）が必要です。

GNSS測量

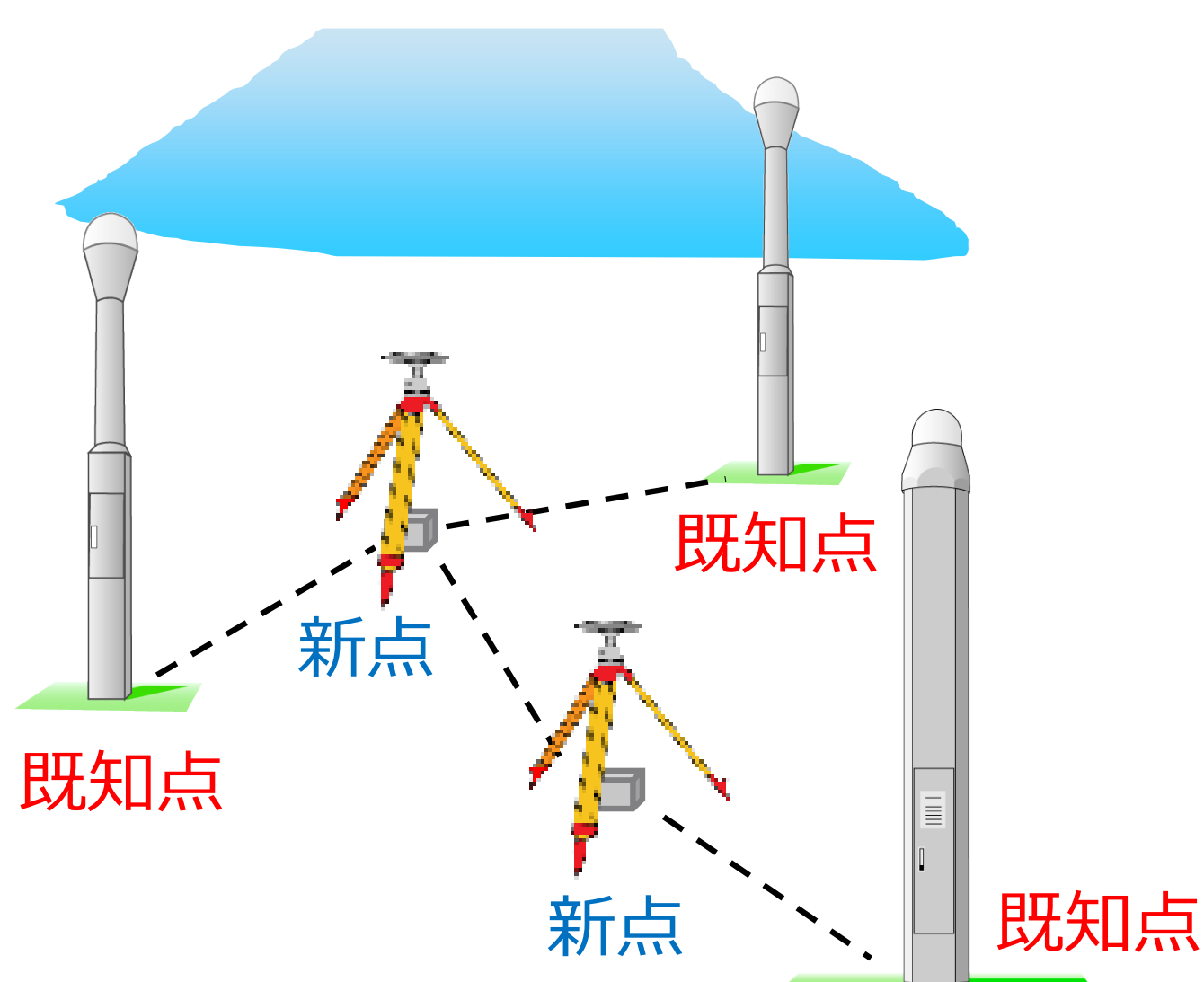
平成に入り、GPS衛星を利用した測量が始まりました。現在はGPS衛星や準天頂衛星「みちびき」などが利用されており、GNSS測量と呼ばれています。GNSS測量により、観測点間の見通しが悪い場所での観測やリアルタイムでの測量が可能になりました。

→ 観測点同士の視通は不要ですが上空の視界（同時に4つの衛星からの受信）が必要です。

スタティック測量

必要な観測時間は長いですが、最も精度の高い測位方法です。

既知点と新点で同時に観測を行い、観測データを解析して位置を出します。



既知点：位置が分かっている点 / 新点：位置を求めたい点

RTK (リアルタイム・キネマティック) 測量

観測時間が短く済むのが利点です。

既知点と新点で同時に観測を行い、既知点で観測したデータを新点に送信することで、新点の位置をリアルタイムに求めます。

